

「努力は足し算、協力は掛け算」

皆さんおはようございます。すてきな夏休みを、すごすことができましたか。校長先生はバスケットボール日本代表チームに感動する日々を送りました。今日はバスケットボール日本代表のようなチームになろうというお話をします。

「努力は足し算、協力は掛け算」という言葉があります。自分の努力は決して裏切らず、努力の一つ一つは着実に積みあがります。結果や成果はすぐあらわれないことも多いですが、無駄な努力などはなく、足し算のように努力した分は必ず自分の力として蓄えられていきます。しかし良いチームは、一人一人の力が足し算で合わさるのではなく、掛け算で爆発的な力が発揮されるということです。みなさんのクラスは何人ですか。それぞれの力を掛け算したらすごいことになりそうですね。ただし、足し算ではなく掛け算ですから途中に「×0」があると結果は「0」になります。一人でも協力しない人がいると、その成果は「0」になってしまうこともあるのです。一緒に活動する仲間が、ブレーキを掛けたり、無気力な姿勢だったりすると、他の全員も足を引っ張られてしまいます。協力して何かを生み出すときには、一人一人がどんな努力をすべきか、そして、一人一人が仲間を助けるために何をしたらよいのかを、よく考えて行動することが大切です。仲間の意識や気持ちが一つになった時に爆発的な力が生まれ、単純な足し算以上の成果となります。2学期は、学区運動会、学習発表会、持久走記録会など、仲間と力を合わせて取り組む行事がたくさん予定されています。自分自身を成長させ、クラスの仲間と感動を共有する絶好のチャンスです。全校のみんなまで協力してより良いものを目指したいです。ただ、人は一人一人「違い」があり、全員が同じようにやれないこともあります。この「違い」を大切にすることが大事です。人と話すことが得意な人もいれば苦手な人もいます。もしかすると周りのためにもものすごく我慢している人もいるかもしれません。勝つために、あるいは良いものを目指すあまりに、そういう人への思いやりや配慮を決して忘れてはいけません。人はそれぞれ「違う」ということを大事にしながら、周りにいるどんな仲間に対しても、優しい言葉をかけたり、困っているときには手をさしのべてほしいです。それぞれの「違い」を大切にしながら、協力し合う。この2学期はこのことを忘れずに過ごしてほしいと思います。最後に、暑い夏休み中に汗びっしょりになって先生たちが、教室のエアコンや扇風機・階段やトイレの掃除をしてくださいました。特別教室や倉庫も整理整頓がしてあります。家庭科室のワックスも塗りなおしてあります。皆さん方が気持ちよく2学期を過ごせるようにとの願いが込められています。本当にありがたいことです。大切に使ってください。皆さんの周りには、皆さんの幸せを思い、支えてくださる人がたくさんいます。支えてくれている人への感謝を忘れず、「違う」人同士の協力の掛け算で充実した2学期にしていきたいと思います。